

神話伝説の山里

たかちほごろ

「高千穂郷」通信

256

令和7年1月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



3シーズンぶりにオープン！五ヶ瀬ハイランドスキー場

12月20日（金）、五ヶ瀬町の大きな観光資源である「五ヶ瀬ハイランドスキー場」が、台風による被災を乗り越えて3シーズンぶりにオープンしました。

同スキー場は、日本最南端のスキー場としても知られ、県内外からスキー客が訪れるほか、地元の県立五ヶ瀬中等教育学校スキー部の練習も行われるなど、たくさんの方に愛されている場所ですが、スキー場への唯一のアクセス道路である町道本屋敷波帰線もとやしき はきが、令和4年9月の台風14号による土砂崩れや地滑りなどで通行止めとなり、休業を余儀なくされていました。

今回、五ヶ瀬町による仮復旧工事が完了したことで、無事に営業を再開することができ、当日は、オープンを待ちわびたスキー客が多く訪れ、パウダースノーの上を滑走していました。

五ヶ瀬ハイランドスキー場オープン！

安全祈願祭 & オープニングセレモニー 開催！

12月12日（木）、五ヶ瀬ハイランドスキー場のオープンに先立ち、スキーセンター内で「安全祈願祭」が行われ、町内外から集まった約60名が今シーズンの安全を祈願しました。

そして迎えた12月20日（金）には、オープニングセレモニーが開催され、株式会社五ヶ瀬ハイランドの社長である小迫 五ヶ瀬町長をはじめ、陳 台湾総領事、橘 九州森林管理局長、佐藤 副知事、佐藤 宮崎県議会議員、佐藤 五ヶ瀬町議会議長などが、テープカットで営業再開を祝いました。テープカット後、訪れたスキー客が一斉にゲレンデを滑っていき、スキー場は3シーズンぶりににぎわいを取り戻した様子でした。



県産材の利用促進に向けて

神話の里 地域木材利用促進協定 締結！



12月25日（水）、高千穂町役場で、一般社団法人高千穂町観光協会、高千穂町、宮崎県の3者による「神話の里 地域木材利用促進協定」の締結式が行われました。

高千穂町観光協会では、現在、事務所の移転を計画しており、新しい事務所には県産材をふんだんに使用する予定で、今回の協定は、その設計や施工において高千穂町と県が技術的な助言や専門家の紹介といった支援を行うために締結したものです。

※完成イメージ



一般社団法人 高千穂町観光協会 新庁舎完成イメージ

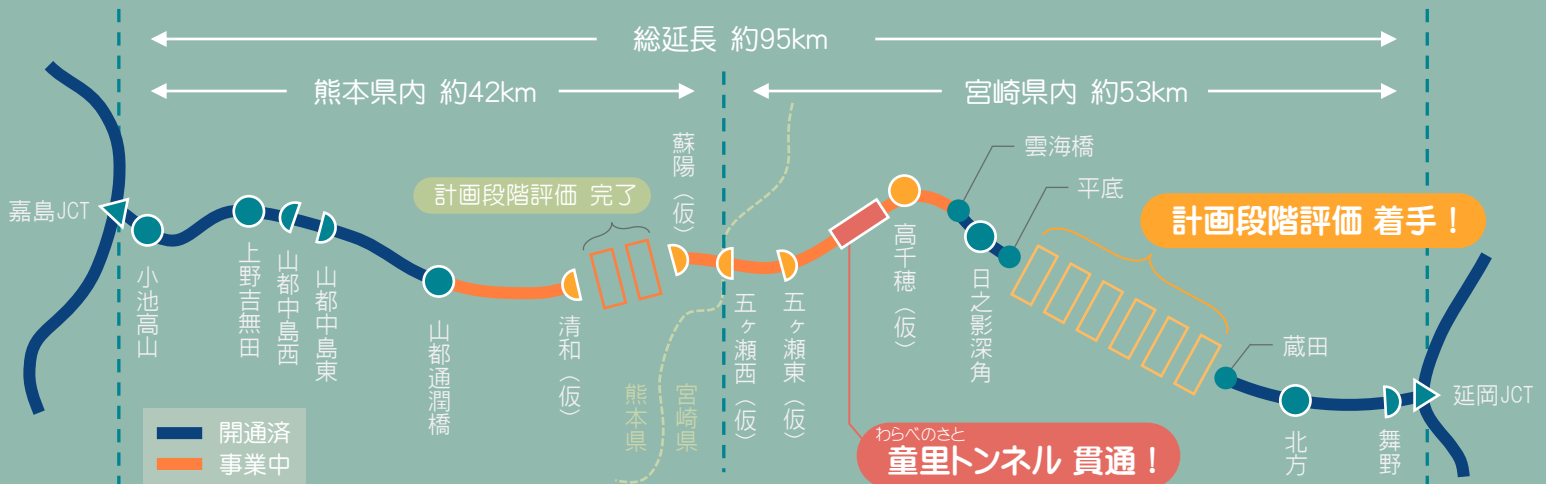
新事務所は、観光客の利便性向上のため、町の中心部に近い場所に移転します。

県産材を活用し、鳥居を彷彿させる朱色の袖壁をはじめ、木のぬくもりがあふれる木造施設となる予定で、「神話の里」高千穂町の新たなシンボルになることが期待されます。

九州中央自動車道の

全線開通に向けた整備が進んでいます！

九州中央自動車道は、熊本県嘉島町から延岡市までを横断する総延長95kmの幹線道路で、現在、全体の約43%が開通しています。そのうち、宮崎県内の供用率は約34%となっており、現在、国や県、地域が一体となって、早期の全線開通に向けて取り組んでいます。



計画段階評価 着手！

12月23日（月）、九州中央自動車道で県内唯一の未事業化区間である「平底（日之影町）～蔵田（延岡市）」間が、事業化の前段階である計画段階評価の手続きに入りました。

同区間は、九州中央自動車道の県内区間で唯一未事業化区間となっていました。令和6年4月に国土交通省から計画段階評価に着手すると発表されており、今回、福岡市の九州地方整備局で、沿線地域の現状・課題報告や今後の進め方などについて話し合う「社会資本整備審議会道路分科会九州地方小委員会」が行われました。

小委員会は、宮崎大学工学教育研究部工学科の嶋本 准教授など有識者10名で構成され、全部で3回の開催が予定されています。

わらべのさと 童里トンネル 貫通！

1月8日（水）、高千穂町押方で、「童里トンネル（仮称）」の貫通式が行われました。

童里トンネルは、九州中央自動車道で事業中の区間のうち、高千穂IC（仮称）～五ヶ瀬東IC（仮称）間に位置し、トンネルの全長は491mで、3車線道路（熊本方面2車線、日之影方面1車線）となる予定です。

貫通式では、西臼杵3町長や延岡河川国道事務所、施工業者など約140人がトンネル坑内から、高千穂町立押方小学校の児童や地域住民など約60人がトンネル坑外から見守る中、掘削機の起動スイッチが押されると、五ヶ瀬側の出口に残った土壁に掘削機が穴を開け、拍手や歓声が上がりました。その後は鏡開きが行われ、参加者全員で貫通を祝しました。

今後は、トンネル内で舗装や照明の取り付けなどが行われ、工事用道路としても使われる予定です。



祝 新年!



新春初市



1月8日（水）、高千穂林産物流センターで、新春初市が開催されました。

式典では、昨年の高千穂林産物流センターにおける優良買上者と優良出荷者に、それぞれ感謝状が渡されました。

その後、西臼杵3町長、佐藤 宮崎県議会議員、西臼杵支庁長などがそれぞれ競り人となって初競りが行われ、西臼杵の豊かな森林から切り出されたスギ・ヒノキなど計3,645m³の原木が、30名の買い方によって次々に落札されていきました。

本県は、スギ素材生産量が33年連続日本一（令和6年時点）となっています。県では今後も、「伐って、使って、すぐ植える」循環型林業の確立に向け、これまで以上に再生林を推進していきます。



新春初せり



1月21日（火）、高千穂家畜市場で、子牛の初せりが行われました。

初せりには、西臼杵管内首長やJAみやざき高千穂地区本部長、江藤農林水産大臣夫人、佐藤 宮崎県議会議員などが参加し、鏡開きで高値取引を祈願しました。

今回の初せりを含む2日間で、西臼杵地域から551頭の子牛が出品され、平均入場価格が昨年より4万4千円高値の約52万4千円（税込／雌・去勢）となりました。

子牛の価格は、枝肉相場の低迷や資材高騰などによって、ここ数年厳しい状況が続いており、今後更なる価格上昇が待ち望まれます。

西臼杵支庁では今後も、生産者や関係機関と一体となって子牛の産地基盤維持に取り組んでいきます。

知事と3町長が意見を交わす 円卓トーク が開催されました！

12月20日（金）、高千穂町役場で、「円卓トーク」の西臼杵ブロックが開催されました。

「円卓トーク」は、知事と県内市町村長が、県政や地域の抱える課題・将来の展望等について忌憚のない議論を行い、県と市町村で連携・協働を推進することを目的としたもので、西臼杵地域での開催は2年ぶりとなります。

今回は、知事と西臼杵3町長が、「子ども・若者政策について」「高齢化が進む中山間地域における担い手対策について」の各テーマについて意見交換し、出生数や婚活イベント、外国人材雇用などの現状・課題が共有され、今後も、各分野において県と3町で連携していくことを確認しました。



Facebook
Instagram



西臼杵支庁 SNS
更新中!

発行/宮崎県 西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

